

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
慶生会KIDSステージ四條畷		2025年 5月 1日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が児童訓練室等のスペースとの関係で適切であるか。	19	0		
	2	職員の配置数は適切であるか。	15	4	国の配置基準に加えて児童指導員と専門職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所は、バリアフリー化や環境上の配慮が適切になされているか。	18	1		建物の構造上エレベーターの設置ができないため、階段の使用について不都合がある場合は職員がサポートさせていただいております
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	18	1	子どもに応じて柔軟に対応しています。	安全計画に基づき毎月月初に安全点検を行い、安全と清潔について点検を行います。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	19	0		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	18	1	本自己評価の内容について検討し、改善のための方策を話し合い、実践、振り返りを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	19	0	保護者向け評価表の内容について検討し、改善のための方策を話し合い、実践、振り返りを行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	18	1	毎日の業務打合せに加え、本自己評価、定期面談を行い、職員の意見を把握し、その内容を業務改善につなげています。	
	9	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公表しているか。	19	0		公表していることについて、全従業員に周知を行います。
	10	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	17	2	内部品質管理課より評価を受け業務改善につなげています。	
	11	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	19	0	年4回の内部研修を行い、知識の習得とスキルの向上の務め、外部研修についても機会を案内しています。	
	12	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	19	0		
	13	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	19	0		
	14	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	19	0		
	15	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	19	0		
	16	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	19	0		

適切な支援の提供	17	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	19	0	子どもの普段の様子を確認した上で「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援」の支援内容を具体的に設定しています。	
	18	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	19	0		
	19	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	19	0		
	20	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	19	0		
	21	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	17	2	支援前には職員一人一人が支援内容を検討することに加え、全体の動きについても打ち合わせを行っています。	
	22	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	17	2	支援後には支援内容の記録を正確に取り、子どもの様子を共有し、振り返りや支援の検討に活かしています。	
	23	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	18	1	支援後には支援内容の記録を正確に取り、子どもの様子を共有し、振り返りや支援の検討に活かしています。	
	24	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	19	0		
	25	放課後等デイサービスガイドラインの総則を複数組み合わせ支援を行っているか。	19	0		
関係機関や保護者との連携	26	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	19	0		
	27	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	19	0		
	28	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	17	2	普段より保健センター、児童発達支援センターと顔の見える関係を構築し、必要な場合は連携を図ることができます。	
	29	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	16	3	送迎がなく保護者同伴の通所のため、保護者を通じて学校での様子について情報共有を行っています。	
	30	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	17	2	児童発達支援から切れ目なくサービスを利用して頂き、スムーズな移行支援を行っています。他の児童発達支援や園との情報共有は保護者を通じて行っています。	
	31	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	19	0		
	32	児童発達支援センターや発達障がい者支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	17	2	児童発達支援センターが主催する研修は職員に案内し、受講できる機会を確保しています。	
	33	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	10		地域の中で他の子どもと活動する機会が少ないため、事業所でできる工夫を検討していきます。
	34	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	17	2	四条畷市障がい児通所支援施設事業所連絡会に参加しています。	
	35	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	19	0		
	36	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	18	1	年に3回の保護者勉強会&交流会を実施し、必要な助言を行い、保護者同士の交流を推進しています	

保 護 者 へ の 説 明 等	37	運営規程に基づく重要事項、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	19	0		
	38	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	19	0		
	39	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	19	0		
	40	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	19	0		
	41	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	19	0	保護者の会についてチラシを掲示するなど、情報発信の協力をしています。	
	42	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	19	0		
	43	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	17	2	Instagramで活動概要や行事の発信を行い子どもや保護者が確認出来るようにしています。	
	44	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	19	0		
	45	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	19	0		
非 常 時 等 の 対 応	46	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	15	4		地域住民との交流や事業所の情報発信について検討しています。
	47	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	19	0		
	48	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	19	0		
	49	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	18	1	毎年保護者様にアセスメントシートを配布し、職員間で状況を共有しています。	
	50	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14	5	食事提供はしておりません。	
	51	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	19	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	19	0	ヒヤリハット、事故報告は事業部内の事業所で共有し、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	19	0	年に1度の法定研修のほか、法人内で統一された動画研修によって定期的に研修しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	18	1	身体拘束適正化委員会により指針を策定しています。	